



菜園雑学

No. 25

- レ タ ス -

平成18年7月31日
神奈川県農業共済組合

サラダに不可欠ヘルシー野菜。歯触りよく、生で食べればバランスのよい供給源、微量ながら、体に必要な栄養素のほとんどを含むレタス

[栽培のポイント]

冬春どり栽培：低温期に向かう作型なので初期生育を促すのがポイントです。条件の良い日を選んで定植します。活着を促進するために、定植後のかん水を十分に行います。

初夏どり栽培：比較的病害虫が少ないので栽培は容易ですが、施肥量が多いと高さの高いタケノコ球が発生します。遅まきすると梅雨時に入りますので播種期に留意。

1 品 種

夏まき秋どり栽培（8月上中旬は種）：オーガスタ、ユーレイクス、シスコ
春まき初夏どり栽培（3月上中下旬は種）：カルマーMR、オンタリオ

2 播種準備

- ・ プラグポット、ペーパーポット等に播種すると、間引きする方法が容易です。
- ・ 用土は市販の育苗用培土を購入の方が手軽です。
- ・ 夏まきでは高温で種子が休眠するので、種子を布などに包んで水に浸漬してから、新聞紙に包み、冷蔵庫に一晩おくと発芽率が上がります。
- ・ 種子は育苗土を入れたポットに4粒ほどまき、種子が隠れる程度に軽く覆土して、かん水し、新聞紙を掛けておきます。発芽まではなるべく涼しい場所におきます。
- ・ 発芽したら、すぐに新聞紙をとり本葉1枚までに間引きをして1本立ちにします。
- ・ 育苗日数は秋冬どりで25日、初夏どりで20日、本葉3枚展開時が定植適期です。
- ・ 必要播種量は1aで4～5mlです。

3 定植・栽培管理

- ・ 定植1週間前までに1a当り完熟堆肥200kg、苦土石灰などで酸性矯正してPH6以上にします。元肥施肥量は成分量で窒素2.5kg、燐酸1.4kg、加里1.7kg程度とします。
- ・ 植付は、通常マルチを張ります。ベッド幅100cm、条間30～35cm3条千鳥植えで、株間30～35cmが標準です。
- ・ 定植前にポットに十分灌水し、子葉を埋めない程度に夕方定植をします。
- ・ 病害虫防除は定植後から本葉10枚頃までは、軟腐病などの病害防除、アブラムシ防除に気をつけましょう。
- ・ 収穫は夏まきで定植後60～70日程度、春まきで定植後55～60日程度で収穫可能。
参考文献：これから始める野菜栽培